

生成AI文学編

日 時：2023年12月23日
場 所：美馬市穴吹農村環境改善センター
講 師：香西孝史
アシスタント：岡田孝枝 丸岡伸子
記 録 担 当：笠井麗子
参 加 者：20名

【内 容】

今月は「今話題の生成AIについて学習してシニアらしく利用方法を考察する」という目標で講義がされました。香西講師は最近大学で生成AIの研修を受ける機会があり、県西ICTネットの皆さんにぜひ伝えたいと思ったそうです。

生成AIの中でもChatGPTが話題になることが多かったので、ChatGPTの新聞記事などを提示し、わかりやすく説明されました。その後例題で練習をしましたが、質問する人によって答えが少し違っていました。また、7言絶句の例では講師が思うような7言絶句ができなかった例を挙げられていました。

「質問は具体的にすること・再質問を行うことでより精度があげられること」を教えて戴きました。さらに「手ぬきのテキストを作る方法」や「新聞記事の要約の仕方」も提示されました。議事録の要約やイラストの自動生成についても説明されました。

最後に講師の書いたまとめをChatGPTが要約したのを紹介され、「よくまとまっている」とのことでしたので下記に載せておきます。

ChatGPT を使用するには、以下の2つの重要な注意点があると考えます。まず、ChatGPT の質問欄には重要な個人情報を入力しないようにする必要があります。また、著作権の問題にも留意する必要があります。ChatGPT の回答は他人の作ったビッグデータの寄せ集めであり、自らの創造物ではないことを理解して活用すべきです。AIは現代の生活に深く浸透しており、プロ野球中継やサッカーの試合などでの解析、産業界や芸術分野での利用が進んでいます。ただし、AIの利用には陰の部分も存在し、反社会的な質問は受け付けられていません。国際的な標準作りに向けてAI技術の進展が進んでいる中、AIの安全な利活用が求められています。生成AIの有効な利活用には注意が必要であり、ロボットの暴走を防ぎ、人類の破滅に繋がらないようにするための対策が重要です。最後に、シニア世代もAIの進化に取り残されず、老後を充実させるためには生成AIの利活用が重要です。しかし、善悪の判断や経験を生かし、慎重に活用することが求められます。AIとの共存において、安心して未来を迎えるためには適切な知識と慎重なアプローチが必要です。

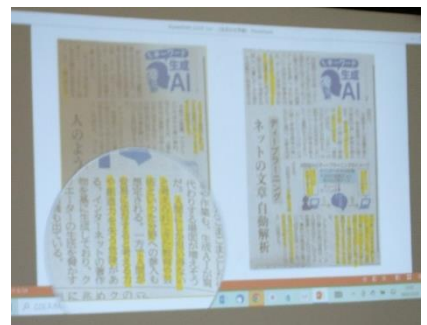
どれも興味深いもので、参加者は熱心に聞き、実際に試していました。今後の活用が楽しみです。



香西講師



会場内の様子



講義内容